

## 様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

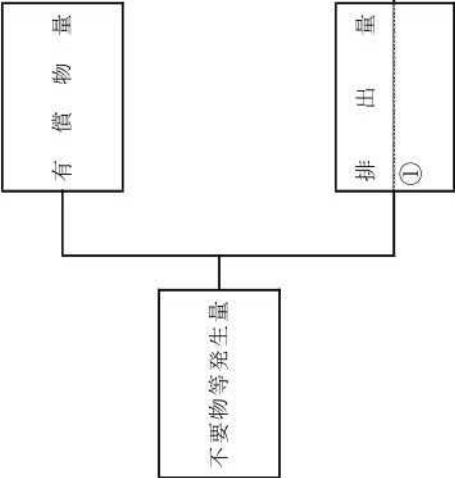
産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 6 年 6 月 10 日			
(あて先) 群馬県知事			
提出者			
住 所 群馬県高崎市八幡町321番地			
氏 名 ピー・アンド・ジー株式会社 高崎工場			
工場長 牧野 充浩			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 027-328-6300 (代表)			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	ピー・アンド・ジー株式会社 高崎工場		
事業場の所在地	群馬県藤岡市本動堂661番地1		
事業の種類	化学工業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1642.767 t	全処理委託量	1642.767 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	1415.350 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	794.668 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	154.615 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1488.153 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

添付資料 1 参照

(第 2 面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： )



項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	

## (第3面)

## 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出してください。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入してください。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入してください。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入してください。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入してください。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付してください。
- 7 ※欄は記入しないでください。

[illegible]

添付資料 1

名 称		計 画									
		F 産業廃棄物の									
		A 排出量	B 自ら再生利用を行った量 (t)	C 自ら熱回収を行った量 (t)	D 自ら中間処理により減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)	F 全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者への処理委託量 (t)	H 再生利用業者への処理委託量 (t)	I 認定熱回収業者への処理委託量 (t)	J 認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量 (t)
産業廃棄物の種類	前年度実績／今年度の計画	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち熱回収を行った量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	Fの量のうち、処理業者への再生利用委託量 (I、Jを除く)	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者への焼却処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の焼却処理業者への焼却処理委託量
	現状	0.057	0.000	0.000	0.000	0.000	0.057	0.000	0.057	0.000	0.000
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	計画										
	現状	0.050	0.000	0.000	0.000	0.000	0.050	0.000	0.050	0.000	0.000
水銀使用製品産業廃棄物	計画										
	現状	0.010	0.000	0.000	0.000	0.000	0.010	0.000	0.010	0.000	0.000
廃電池類	計画										
	現状	0.690	0.000	0.000	0.000	0.000	0.690	0.000	0.690	0.000	0.000
複合材	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
合計	計画										
	現状	1465.807	0.000	0.000	0.000	0.000	1465.807	1130.310	452.327	197.290	816.190